

石狩市公立小中学校事務職員第50回学校間連携会議議案

2014年3月7日(金) 14:00～(市事協研修会終了後)
於：石狩市役所402号室

1 議長挨拶

2 報告事項

- 2月21日(金) 第49回連携会議
- 2月24日(月) 実践交流：執行決議書入力シート HPアップ
- 2月24日(月) 第49回連携会議 議案・記録HPアップ
- 2月25日(火) 予算要望委員会

3 協議題

(1) 提言1の見直しの最終確認について ～ 別紙1

(2) 2013年度版「石狩市の学校間連携」について ～ 別冊

製本について

- ①本日の論議による修正部分を含め、後日確定PDFファイルをメールで送信します。
- ②製本は、各学校で必要部数を作成します。
- ③綴じ方は左綴じホチキス止めとします。

配付先と配付方法等

- ①教育委員会 ----- 製本を事務局から配付(面談にて)
- ②各校長 ----- 各学校で印刷製本し配付
- ③学校支援推進委員 ----- 各学校で印刷製本し配付
(学校支援推進委員については校長の許可を得てください)

かがみ例文は、本議案の最後にあります。

(3) 2013年度事務局反省について(その3) ～ 別紙2

4 実践交流

5 連絡事項

提言1 コピー機・輪転機の更新について

提言内容

1. コピー機・輪転機の更新に際しては、学校との事前協議に基づき進められること。
2. リース料・リース期間、保守点検などの契約内容と更新に関する基本方針が各学校に示されること。

説明

連携会議事務局は、市内各校のコピー機・輪転機の実態について、2009年に続きリース・買い取りの別、リース業者、リース期間、消耗品単価等の調査を行い、さらに今回の調査では納入月日・年間平均枚数・保守点検の有無を追加の調査項目として調査を行いました。

調査の理由は、

昨年度の機械の納入に際し、以前と同様に事前協議もなく業者が新しい機械を搬入したという学校からの報告があったからで、事前協議があれば、使い勝手や価格面から、より対費用効果の高い機種選定が行えたのではないかとのことでした。

調査の結果

- ①旧市内は市教委管轄であり浜益・厚田地区は支所の管轄である。
- ②コピー機・輪転機とも旧市内では3社がリース業者となっていて、浜益・厚田地区は1つの業者が入っていて厚田地区の学校は10年近く更新されていない。
- ③主にリース業者（＝メーカー）によって、コピー1枚単価に差があり、その差は最安2円から最高3円で1円の差があった。
- ④輪転機において保守点検を結んでいる業者と保守点検を結んでいない業者があり業者の違いにより故障時の対応に学校間格差がある。
- ⑤カウンター数の大小にかかわらず更新年度が決められている。

コピー代金は配分消耗品での支出のため、コピー単価は予算執行上大きなウエートを占めています。価格決定の過程が学校職員にも明らかになっていることが、節約を励行する上でも必要でありカウンター料は全校同額が望ましいと考えられます。

①②の調査結果より担当管轄の格差を解消するためには、旧市内と浜益・厚田地区すべてにおいて同じ条件で更新されることが必要です。

なお、今年度にあっては、市教委総務企画課より更新のお知らせと学校要望についての聞き取りが実施されましたが、このような対応が今後も継続されることが必要です。

また、リース料・期間や保守点検などの契約内容と更新に関する市教委の基本方針もあらかじめ各学校に明示されることで、故障時の対応や更新の見通しが立ち、校内でのより適切な利用をすすめることができると考えられます。保守点検は全校の全機種で加入されることが望ましく、学校によっては耐用カウンター数を超えた機種を継続して使っている学校もあるのでカウンター数を更新時期の判断に加味することが必要です。

小学校1校・中学校1校以外ではコピー（複合）機以外にFAXもリース契約され導入されています。しかし、今後はコピー機においてFAX機能を活用できる事により経費削減につながると考えられます。

2014年 3月改訂

＜別紙2＞2013年度事務局反省（案）について

本日提案した内容について別途意見聴取し、2013年度計画の際に見解を付して提案します。

2013年度事務局反省（案）

1. 会議の開催状況

これまでのスタイルを踏襲し、市事協研修会に合わせて10回の開催。出席者が少ない日もあったが、概ね順調に開催できた。現状ではこれより多くすることは困難で、年間のスケジュールを考えると少なくすることの影響も大きいと考えられるため、次年度も10回程度で計画したい。

2. 白書（学校財政と学校事務の状況調査）と提言

調査活動について

調査活動については、今年度は「教材備品費」に関連して、教材備品購入計画の交流などに成果があったが、そのことが直ちに「調査結果のまとめ」的なスタイルにはならないという面もあり、調査活動については特筆すべき点はなかった。しかし、「図書ブックカバー」に関わって、過去の調査の再調査を行うことができ、「コピー機のリース状況」なども今後の再調査を検討すべきと考える。

なお、石狩市内のミッション加配校の現状と課題について全市的調査を実施し、冬季研修会の題材とできたことは成果と考える。

提言について

上記の通り、「教材備品費」について多くの時間を割いたこともあり、提言は2項目となったが、それぞれ内容の濃い提言となった。

3. 予算要望

要望資料について

要望内容にもうひと工夫加えるべきところ、結果的に前年と同内容の要望となったことを反省点とする。「もうひと工夫」とは、具体的には①昨年度の「修学旅行経費の引率者自己負担の公費化」を要望する、②資料2の「保護者負担の軽減」を「教科運営費」等への名称変更することの検討、③「楽器購入五箇年計画」などの手法、が考えられる。

学校財政に関する調査について

この調査は3年間実施し、一定の役割を果たしたので、今後さらに発展させるか、観点を変えて実施するか、またはいったん休止するか、などの検討が必要になっている。

4. 実践交流

「2」で既述したが、教材備品購入計画のとりくみについて新ひだか町など他管内も含めた交流ができたことは意義深かった。その反面、定例連携会議での実践交流については、時間の確保の問題もあり十分に実施できていないため、工夫が必要である。夏季・冬季研修会を実践交流の場として活用することについてさらにすすめていきたい。

5. その他

各学校との連絡方法に関わり、現在はメール中心だが昨年提起した、スカイプの導入などをすすめていただけると、メールによる連絡より省力化できる部分があるので、それぞれご検討いただきたい。

次年度は元の3グループ体制に戻ることもあり、これまでの積み上げを活かして、各グループが自主的に活動と提起を行ってもらうこと、事務局がその調整を上手く図ることを念頭に事務局運営を行っていきたい。

※次頁の意見集約用紙を年度内に事務局（樽川中学校）に提出してください。

2013年の学校間連携活動反省意見集約用紙（年度内に事務局に提出）

1. 事務局による調査の負担度合いはどうでしたか。
かなり負担であった。 やや負担、あるいは内容によっては負担だった。
それほど負担ではなかった。

2. 具体的に、どのような調査が負担でしたか。（できれば理由も）

3. 2013年のとりくみで、成果を感じられた事項は何でしたか。（できれば理由も）

4. 2013年のとりくみで、あまり成果を感じられなかった事項は何ですか。（できれば理由も）

5. 来年度、更に力を入れるべき事項や新しくとりくむべき事項はありますか。（できれば理由も）

6. 来年度、廃止または縮小すべきとりくみはありますか。（できれば理由も）

7. その他、一年間の活動で気づいた点などありましたら、自由に記入してください。

【学校名

】年度内に事務局（樽川中へ提出。可能な限りメールで・・・）

平成 年 月 日

様

石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議議長
(石狩市立南線小学校事務職員)
三 上 正 一

2013年度版「石狩市の学校間連携」の配付について

小中学校の卒業式も終了し、一段と春陽の増す今日この頃ですが、貴職におかれましては石狩市の教育推進にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さてこの度、当会議におきましては、この一年間の活動をまとめた「2013年度 石狩市の学校間連携」を作成いたしました。この間の関係各位のご協力に厚く御礼申し上げます。

つきましては別添の通り配付をいたしますので、ご査収くださいますとともに、ご意見等ございましたら事務局までお寄せいただきますようお願いいたします。

今後とも、「学校間連携会議」に対するご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。